

日時：令和 2 年 9 月 24 日（木）13:30～

場所：401 会議室

【協議事項】

防災監：国が先週の土曜に 11 月末までのイベント開催制限を緩和する方針を打ち出した。愛知県も 19 日から同様の対応をしており、犬山市としてどのような対応をしていくか協議したい。

事務局（防災交通課長）：感染防止対策と経済社会活動の両立のため、新たな日常の構築を図ることを目的に、当面 11 月末までの取り扱いが国から示された。収容率について、感染リスクの少ない大声での歓声・声援等がないイベントは 100%に緩和し、その他のイベントについては 50%未満にする。人数の上限は収容人数 1 万人を超えるものは収容人数の 50%、収容人数 1 万人以下は 5 千人という内容である。

防災監：国は、大声での歓声・声援等があるかないかで、収容率を分けている。これまでのように国及び県の方針に準じた対応として、公共施設の利用方法についても合わせていく案である。

見直し案は、10 月 1 日から 11 月末までの期間を考えており、これまでの公共施設の利用における感染防止の基本的な対策は変えず、収容人数の変更が大きな違いとなっているが、意見はあるか。

経営部長：利用者への案内文の書き方の話だが、見直し後の利用条件は、先に制限をかけることを記載した方がわかりやすい。

防災監：対応する。

都市整備部長：30 分で換気するというのは、主催者である施設管理者か、利用者かどちらがやるのか分かりにくい。明確にしたほうがよいのではないか。

防災監：換気の実施は、お互いにそういう認識を持って利用してもらうため、両者の条件に記載している。

都市整備部次長：換気は 1 時間に 1 回ではなく、30 分に 1 回でいいのか。根拠はあるのか。

防災監：確認する。

都市整備部長：利用者は各自検温してくることとしているが、会場では検温しないのか。

防災監：今後も現状通り、このまま進めていく。

健康福祉部長：内容によって収容率を変えるのは市民が判りにくい。

防災監：現状、施設によっては、利用に制限をかけているところもあるので、利用者への説明は施設ごとの対応をお願いしたい。

教育部長：施設利用の許可を出す際は、基準のとおりで許可を出したが、いざ当日に想定以上の人数が来て、収容率を超えた際は、どのように対応すればよいか。また、旧磯部家住宅で、記名をさせることによって密な状況ができています。これは改善できないか。

防災監：最初の件については、利用の前段階で周知、説明を徹底してほしい。二点目については、施設ごとの状況に応じた対応を考えてもらえばいい。

企画広報課長：国の資料は、クラスターが発生した場合と 12 月以降の記述がある。市も同じ表現で追記をしておいたほうがよい。

防災監：対応する。

副市長：日本全体として、イベント等は感染状況を見ながら緩和し、日常に戻していこうという方向で進めている。市としてもこれでよいと考えている。一つとして、この連休の結果が 10 月中旬にはあるので、結果によっては対応を考えていく必要はあるが、窮屈ばかりではいけないので、この形で緩和していけばよいと思う。

教育長：感染状況については、刻一刻と状況が変わっているので、それに合わせた対応でよいと考えている。

市長：企画広報課長が言った内容は反映すること。また、都市整備部次長が言った30分に1回の換気についても、根拠を確認して欲しい。次に、市内公共施設で、ルールを守っていない人への対応が、施設や担当者によって異なるとは、市民に不信感が生まれるので、市の対応をしっかりと確立しておくこと。

基本的な路線についてはこれでいいと思っている。

防災監：では、基本的には、この方針で進めていく。各施設については、現状の対応方法を確認し、見直すこと。

副市長：できるだけトラブルは避けたいと考えている。換気について、根拠は何か。

防災交通課長：厚生労働省より良好な換気状態の基準として、30分に1回以上の換気が推奨されている。

防災監：次に、その他について説明を。

防災交通課長：市内感染者の公表について、今までは県がホームページで公表した情報をもとに、同日にメール発信してきたが、現状だと県から公表される時間が不規則であることと、即時性が必要かどうかという点から、翌開庁日での情報発信としたいと考えている。

防災監：仮に土日に判明しても、月曜日に情報発信するということになる。これについて何か意見はあるか。

副市長：よいのではないか。3月に確認された市内での感染1例目は、初めての感染者だったこともあり、その日のうちに情報提供を迅速に行う必要があった。現状では情報に即時性が必要ではないと思うのでいいと思う。

市長：了解した。

防災監：では、情報提供のタイミングについて、この方針で進めていく。これで会議を終了する。